

様

経過	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目
	(/)	(/)	(/)	(/)
観察		看護師が定期的に部屋を訪問し体温、血圧、症状の変化を観察します。 術後、性器出血の量が多いときはお知らせください。   		
安静度	制限はありません。	手術の後はベッドの上で過ごします。 寝返りは自由にできます。ご自分で寝返りがうてない場合は看護師がお手伝いします。	初めての歩行は看護師と一緒にします。 その後は病棟内を歩くことができます。	制限はありません。
食事	【午前手術の方】 夕食まで食事ができます。 脱水予防の為、夜9時までに500mLの水を飲んでください。 その後は食べたり飲んだりできません。	【午後手術の方】 9時までに500mLの水を飲んでください。 その後は飲めません。 	手術6時間経過し、看護師が観察した後に水が飲めます。 朝食から普通食が始まります。 (良く噛んで食べてください)  	
清潔	シャワーに入れます。 	手術前に歯磨きをしてください。	看護師が身体を拭くお手伝いをします。	
排泄	トイレに行くことができます。 	手術後から、排尿用の管が入ります。(管は術後3日目に抜きます) 術後から歩行できるまで排便はベット上になります		
診察処置	【腹腔鏡下手術の場合】 おへそをきれいにします。		【腔式の場合】 医師が腔内のガーゼを抜き創部の観察をします。 	
検査			朝、採血を行います。 	
薬物療法	今飲んでいるお薬を確認します。  希望があれば睡眠薬をお渡しできます。 寝る前にお飲みください。	手術室で点滴を入れます。 ただし12時以降の手術の方は10時頃より点滴を始めます。 手術後は点滴を3本と抗生剤1本、鎮痛薬の投与を行います。	朝から、痛み止めとお通じを柔らかくするお薬が始まります。 内服指示に従って内服してください。  【腔式の場合】腔粘膜を保護するためホルモン剤の内服も始まります。	
指導	手術前オリエンテーションを行います。  薬剤師から薬の説明があります。 			
目標	手術の目的・麻酔・術後の経過などがわかる。 不安・疑問などを伝えられる。	性器出血または腹腔内の出血がない。		
		痛みや嘔気を医療者に伝えられ、苦痛を最小限に抑えることができる。		痛みを医療者に伝えられ最小限に抑えることができる。
		転倒せず病室外まで歩行できる。	転倒せず病棟内を歩行できる。	

様

経過	術後3日目 (/)	術後4日目 (/)	術後5日目 (/)	術後6日目(退院日) (/)
観察	看護師が定期的に部屋を訪問し体温、血圧、痛みや性器出血、排尿状態などを観察します。   			
安静度	制限はありません。			
食事				
清潔	シャワーに入れます。シャンプーもできます。  			
排泄	排尿用の管を抜きます。	その後はトイレに行けますが、4時間以上あけないようにしましょう。 トイレに行ったあとに毎回膀胱内に残っている尿量(残尿量)を看護師が測ります(夜間は排泄で起きた際に行います)。術後4日目以降に残尿量50mL未満が2回継続したら終了します。50mL以上の場合は継続します。 		
診察			退院前の診察を行います。 	
検査			朝、採血を行います。 	
薬物療法	痛み止めは痛みが改善したら内服を中止してください。  お通じのお薬は自己調節しても良いです。 【腔式の場合】ホルモン剤の内服は、術後1ヶ月は飲み続けてください。			
指導	定期的な排尿と、残尿測定の必要性を説明します。 			
目標			腹圧をかけずに排便することができる。	
			退院後の生活の留意点が分かり、不安や疑問を医療者に伝えることができる。	
	痛みを医療者に伝えられ、最小限に抑えることができる。			
	4時間以内に排尿する理由が分かり、トイレ後に看護師に報告できる。			